

協会便り

No.221

令和元年11月1日

一般社団法人福島県地質調査業協会

令和元年度（平成31年度）第2回 総務委員会議事録

1. 日 時 令和元年9月19日（木） 17:00 ～
2. 場 所 郡山 ともり郡山店
3. 出 席 林担当理事， 丹治総務委員長， 菅野， 青木， 高橋， 恩氏， 山崎
北島， 柴宮， 小林， 安西， 大平， 山下 計 13名 （2名 欠）
4. 議 事
《議事》
 1. 上期事業実施状況報告
 - ホームページの更新
 - 会員名簿の作成・配布 （ 7 /24 にて、全配布完了 ）

県北地区	7 /10 までに、すべて終了
県中・県南地区	7 / 9 までに、すべて終了
いわき地区	7 /24 までに、すべて終了
相双地区	7 / 5 までに、すべて終了
会津地区	7 /23 までに、すべて終了
 - 各種講演会・講習会
 - 労働安全衛生講習会（さく井技術協会との共催）
8/6（火）13:30～ 福島県建設センターにて実施済み
 - 11/15（金）13:30～16:30 「福島県建設センター」にて、法令
遵守等講演会が、開催されることになった
 - 2. 下期事業計画について
 - 第2回総務委員会の開催
9/19（木）17:00 ～ 本日、郡山 ともり郡山店にて開催
会議および懇親会の会場予約等をしていただいた、小林委員、
ありがとうございました
 - 会員相互の親睦事業
9/28（土）に、親善ソフトボール大会（雨天時バレーボール大会）

を実施計画

その後、懇親会を本宮アサヒビール園にて行う段取りをする
(当初、10/5(土)に実施計画していたが、上記両会場との兼ね合い
で日程が合わず、9/28(土)に変更となった)

各会場予約・準備、懇親会予約等は、大平委員を軸として県中の方々
で調整・手配をする

当日は、県中地区の人達が連携して、試合会場の準備等をする

なお、各社の出欠確認は事務局にて集計するが、チーム編成は
大平委員(小林委員)が担当する。

- 。各委員会合同会議及び懇親会

来年、1/23(木)に実施計画(会場は、穴原温泉 吉川屋)

3. その他

- 。県技術管理課との意見交換時に、総務委員会として要望事項の提出
依頼があり、意見を取りまとめるために、小委員会を設けた
6/25(火)地質協会にて、第1回小委員会を開催、青木副委員長を
小委員長として、折笠委員・高橋委員・山崎委員・菅野委員で、
各委員会社から事前に要望事項等をあげて頂いていたものを、協議・
検討し、総務委員会としての要望事項として取りまとめた。
取りまとめた要望事項は、以前地下水調査業務委託基準に掲載され
平成30.10.1以降起工適用歩掛から姿を消してしまった、電気探査
の歩掛を、再記載して欲しいという事を要望事項とする事にした。
- 。会長より事前に頂いていた、国土地盤情報データベースについての
資料を各委員に配布した、それを、それぞれの会社にて役立てて下
さいとの事でした。



令和元年度 福島県土木部との意見交換会

1. はじめに

福島県土木部技術管理課と当協会の意見交換会が令和元年10月10日(木)に福島県自治会館にて開催されました。

2. 出席者

福島県土木部からは、相澤広志企画技術担当次長、山田 毅技術管理課長、青木康夫同主幹兼副課長、上田直美同主任主査、國分彰成同主任主査の5名がご出席されました。当協会側からは、佐藤会長、阿部副会長、鈴木理事、林理事、青木総務委員会副委員長、石田技術委員長、小澤・渡部・橋本の各技術委員の計9名が出席しました。

3. 主な内容

小澤技術副委員長が司会を担当し、佐藤会長、相澤次長による冒頭の挨拶と出席者の紹介の後、意見交換を行いました。当協会が提示した内容は下記のとおりです。

議題1 社会動向に関する項目

- ①発注の平準化および履行期限の平準化について
- ②設計業務委託等技術者単価について
- ③受発注者が共に安心して働ける環境づくりについて

議題2 契約・積算に関する項目

- ①速やかな変更契約の実施について
- ②地下水調査業務積算基準における電気探査歩掛の再記載について

議題3 業務履行に関する項目

- ①協議打合せ時の上司の同席について
- ②発注時期の適正化について
- ③適正工期の確保について
- ④堀止協議およびボーリング立会い検尺について
- ⑤地権者対応について

不整地運搬車運転特別教育(1t未満)実施報告書

10月15日、16日の2日間に不整地運搬車運転特別教育(1t未満)を下記のとおり実施しました。この特別教育は、技術者及びボーリング作業従事者(オペレーター・助手)等を対象に学科と実技を行い、知識と操作方法等を習得し、不整地運搬車(1t未満)の労働安全法による特別教育等修了書の取得を目的とし行いました。

内容は以下のとおりです。

日時：10月15日(火) 9:00~16:50 (学科)

10月16日(水) 9:00~16:30 (実技) 2日間

会場：【学科】郡山市労働福祉会館(大ホール)

【実技】郡山カルチャーパーク(第3駐車場)

受講者：57名

講習内容

【学科】

月日	時間	次第	会社名	氏名
10月15日	9:00~16:50 (休憩、昼休含む)	学科	(一社)労働技能講習会	中山孝夫
10月16日	9:00~12:00 (午前の班)	実技	(一社)労働技能講習会	中山孝夫 菊池勝英
	13:00~16:00 (午後の班)			

不整地運搬車運転教本(技能講習テキスト)により、以下の内容を行った。

- 不整地運搬車に関する基礎知識
- 不整地運搬車の走行装置の構造
- 不整地運搬車の走行に関する操作及び確認事項
- 荷役装置の構造
- 荷役装置の取扱い作業及び不整地運搬車の移送
- 運転、合図及び誘導に関する留意点
- 関係法令
- 災害事例

【実技】

午前(A班・B班)、午後(C班・D班)で4班に分かれ、カラーコーン等で簡易的なコースを作り、安全点検・走行・ダンプ装置の操作を一人一人行った。

本特別教育の準備をしている中で、不整地運搬車運転特別教育(1t未満)は全国的にも実施している団体等が少なく(東北では無い)、非常に苦勞しましたが石田技術委員長及び小委員会技術委員の尽力もあり、実現できたことは非常に良かったと思います。

報告 : 技術委員 橋本芳彦



去る10月2日(水)令和元年度秋季総会を開催しましたが、当日は総会前に、恒例となりました「親善ゴルフコンペ」と「秋のハイキング」も実施いたしました。

親善ゴルフコンペの部

優勝 (株)日本技術ガイドセンター 仁井田社長 



ハイキングの部

涼を求めて

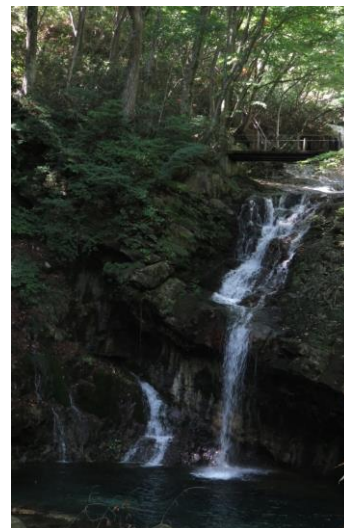
10月2日(水)晴天。すごく天気の良い一日の始まりです。

今日は福島県地質調査業協会秋季総会が夕方から開催される日で、午前中は予定なしなので、ちょっとしたトレッキングを役員及び運動不足の社長さんに向けて計画しました。昨年につき2回目で、予定参加者は5名でしたが、最終的には昨年と同様の3名となってしまいました。

今回は、安達太良スキー場近くの“あだたら溪谷”をめぐる約1~2時間のコースで、鳥川沿いの遊歩道を行くコースとなっており、森林浴と溪流での滝や奇岩を巡るもので、遊歩道の整備もしっかりしています。

今日は朝から暑い一日になりそうなので、避暑にうってつけの散策になりました。

下の写真にコースを示しますので参照してください。



午前 10 時にスキー場入口の松の木の木陰で待ち合わせ、10 時 15 分に出発。まず安達太良山への登山道を広葉樹林の中を“あぶくま溪谷”入口までゆっくりと歩く。

入口で記念写真を撮り、溪谷に入る。

まず、滑滝を左手に見ながら、水の流れる音に聞き入りながら下流へと下る。滑滝（紅葉滝）を見て、対岸へ渡ったところにベンチがあったので、ここでコーヒータイムとし、乾燥マンゴーやパイナップルを食しながら談笑した。

溪谷周りの木々は、まだ紅葉には早いですが少し色染き始めた感があり、紅葉時はもっと素晴らしい景観が楽しめるかと期待された。

その後、昇竜の滝、千丈岩、魚止滝、そして二階滝と巡って待ち合わせ場所へと戻った。約 1 時間 30 分のトレッキングでしたが、暑い日なのに、涼しい半日を楽しみました。

最後に、休憩所で梨を食べ、岳温泉近くのレストラン「ティーポット」で二本松 B 級グルメの「パイ付カレーライス」に舌鼓をうち、解散となった。

このコースは、子供やお年寄りの方でもゆっくり楽しめるので、おすすめの散策路です。

(写真・文 庄建技術(株) 鈴木社長)



法令遵守等講演会の開催について

- ※日時 令和元年 11 月 15 日（金）13：30～16：30
- ※場所 福島県建設センター 2 階会議室
- ※内容 「独占禁止法の遵守について」
講師：弁護士法人 新開法律事務所 新開文雄氏
「中小企業も！働き方改革」
講師：福島県働き方改革推進支援センター 丹治正夫氏

！！お申し込みがまだのところはお早めにお願ひします

●災害応援協定に基づく行動記録 ～郡山湖南線土砂崩壊に関わる派遣要請～

- | | |
|-----|---|
| ■日時 | 令和元年10月13日（日）14時00分頃に要請 |
| ■場所 | 主要地方道 郡山湖南線（福島県郡山市逢瀬町多田野，旅館太田屋） |
| ■概要 | 郡山湖南線の谷側斜面が台風19号の強雨で崩壊し、崩落土砂が旅館太田屋の外壁まで押し寄せた。道路および旅館を守るために、崩落土砂を撤去しても崩壊規模が拡大しないかどうかの判断を委ねられた。 |
| ■経緯 | 郡山湖南線の土砂崩壊に伴い、県中建設事務所の山森善太郎管理課長が、日本技術ガイドセンターの北原 賢災害委員に連絡を入れたため、地質調査業協会に対応・支援した。 |

1. 依頼から結果報告までの時系列行動

(1) 令和元年10月13日（日）

① 14時00分 北原

山森管理課長から、崩落土砂を撤去してもいいかどうかの判断をお願いされる。

② 14時30分 北原－蓮沼

蓮沼委員長が現場へ直行できる災害委員を人選し、北原および小沼へ支援を要請。

③ 15時30分 北原・小沼

被災箇所にて、崩壊規模と崩壊機構を想定し、県中建設事務所のダム課長“大宮博隆”氏に崩落土砂の撤去を指示する。山側へ崩壊が増派するおそれはないものと判断。

④ 16時30分 北原・小沼

湧水状況と滑落部の状況を懸念する必要ありと建設会社へ施工時の留意事項を伝える。さらに、片側通行規制が必要と指示。

⑤ 17時00分 小沼－蓮沼

蓮沼委員長へ概況を電話報告。

(2) 令和元年10月14日（月）

- ・被災箇所の踏査図面作成
- ・協会の災害委員へ踏査図面をメール送信



(3) 令和元年10月15日（火）

北原・小沼が県中建設事務所の山森善太郎管理課長に、被災箇所の現況報告および崩壊機構などを報告。併せて、大宮博隆ダム課長にも挨拶。

山森管理課長から、正式な要請文書は現在上申中なので後日送付とのこと。

以上

※県南地区の時系列については追ってお知らせいたします。